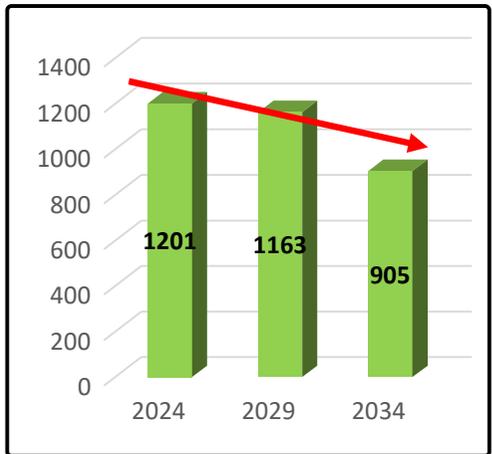


# 観音寺市立中学校の部活動「地域連携・地域移行」のこれから

○子どもの多様な活動の保障      ○教職員の働き方改革

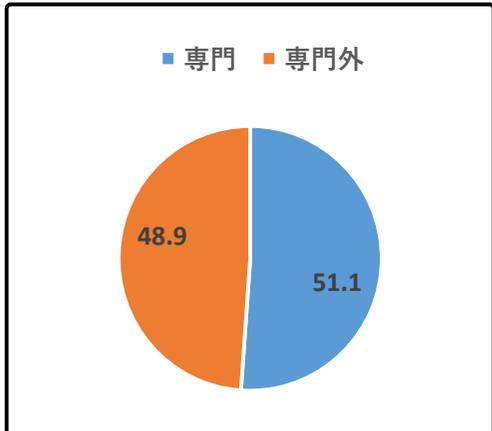
## 現状と課題

○ 中学生人口の減少 10年後約25%減少



- 団体種目が組めない
- 部活動数確保の限界
- 学校間協力の必要性

○ 専門性のある教員が約半数



- 専門性ある指導者
- 教員の負担増
- 指導へのやりがい

令和6年度中学校部活動調査

## 今後の方向性

### ① 活動形態の工夫

- 合同練習・合同部活動の推進
  - 軟式野球 4チームを合同2チームに
  - 新体操が合同練習
- 拠点校部活動の推進
- 地域クラブ活動の推進
  - プログラミング（国実証事業）

保護者アンケートの実施

## 市部活動地域移行検討協議会

### ② 専門性のある指導者の確保

- 部活動指導員の拡充
  - 文化部3名 運動部2名（6年度実績）
- 各種団体との協力・連携
  - 地域の活動団体、クラブチーム等例）柔道、ソフトテニス、水泳
- 教職員の兼職・兼業
  - 人材バンク登録と派遣元団体の整備

教員の意向調査

## 令和9年度以降の姿

- 生徒の活動の確保
- 令和9年度には休日（土・日・祝日）の教員の立場での指導をゼロにする

月	学校部活動
火	学校部活動
水	休養日（平日1日設定）
木	学校部活動
金	学校部活動
土	○学校部活動として活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>部活動指導員</li> <li>兼職兼業者登録</li> </ul>
日	○地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>各種団体と協力</li> <li>県の人材バンク活用</li> </ul> 土日のどちらかは休養日